

令和5年度 第3回 紀南高等学校 学校運営協議会 議事概要

日 時	令和5年9月25日（月）19：00～21：10
場 所	紀南高等学校会議室
出席者 (敬称略)	辻本、岩本、山本、長阪、廣畑、田尾、産屋敷、二村、立嶋、湊、舛屋 (県教育委員会) 大屋、加藤、小林 (紀南高校) 辻、込谷、湊、中道、福田、前川、松本
欠席者 (敬称略)	西、中嶋
議 事 主な意見	<p>1 報告事項</p> <p>(1) 「第2回紀南高等学校学校運営協議会」議事概要について</p> <p>(2) 第5・6回紀南地域新高等学校ワーキング会議概要について</p> <p>(3) 学校の現状について</p> <p>(4) 学校運営協議会委員より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過疎地域の学校存続は難しい。教員も忙しく子どもと向き合う時間の確保が困難な状況がある。地域再生のため、市町が学校を支援する要求を県教委から出してほしい。 <p><u>⇒(県教委) 県としても支援はするが、市町とどのように繋がるかは各校による。意見をもち帰って共有し、反映できることを検討していきたい。</u></p> <p>2 協議事項</p> <p>(1) 紀南地域新高等学校について</p> <p><u>⇒コミュニティ・スクールの継続とコーディネーターの配置、紀南校舎存続のためのきめ細かな指導、系列を問わず「就労体験」「地域創造学」「地域産業とみかん」を選択することができる柔軟なカリキュラムを設置する特色ある学校づくりについて説明。</u></p> <p><u>⇒現在定員40名に2つの系列、6つのコースを構想しているが、すべてを運用できるかは現在各教科で相談中。「選択」と「集中」で、優先順位をつけてコースを検討したい。地域のことを学んで地域に就職する生徒を育成したい。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1クラスとなると授業が制限され、魅力を出すことが難しい。教員の校舎移動も現実的には厳しいと思われる。 ・紀南校舎の存続のために「誰一人取り残さない学びの場」を実現してほしい。 ・地域の企業が欲しい生徒をよく考えて系列やコースを置いてほしい。紀南高校の魅力の一つであった「医療・看護」への進路先がなくなると、紀南校舎の希望者が減ることが懸念される。

- ・1クラスになった時、何を中学生にアピールするか考えてほしい。来年度入学する紀南高校の生徒が、寂しい思いをしないようにしてほしい。
- ・中学生の時から就職希望を持って進路を決める生徒はいる。将来どうありたいのか、考えさせながら進路指導を行っている。
- ・最後まで小規模校の魅力ある紀南校舎として残せるようにしなければならない。地域の存続にも関わるため、明確に特色を打ち出していくべき。
- ・子どもの意識は多様性があり、中学生は、高校に入ってから将来を考える生徒もいる。子どもと保護者の意識を引き付ける魅力化を図ることが必要。

⇒40人規模で6コースは多いため、慎重に検討している。多様性も魅力ではあるが、体験授業を本校の特色としたい。

- ・兼用できる授業を工夫するなどして、コースは多様な方がよい。出来ないから削除するのではなく、選択できるようにしてほしい。進学も出来るようにしてほしい。
- ・面倒見のいいことは紀南の魅力なので、今までどおり続けるべき。
- ・紀南地域新高等学校の目指す学校像などは、案とあるが、ほぼ決定事項なのか。教員確保も難しいため、支援をお願いしたい。

⇒(県教委)基本として置いているが、おかしいとなったら変更の余地はある。

県全体の中でやりくりしていくので、各校に応じたベストを考える。

教員が移動して授業をすることは一つのチャレンジである。これからは思考力、判断力等の資質や能力をいかにして生徒につけるか、学校に求められている。「人として成長させられる学校」という魅力を打ち出し、中高6年間のイメージで、地域の中で育てる、地元に戻ってくるサイクルを作りたい。

⇒内面に悩みを抱える生徒、コミュニケーションに課題がある生徒が増加している。若い教員が生徒の相談にのっていることも多く、その報告から早期対応と未然防止に繋げている。本校は以前から中高の連携が出来ており、信頼関係を構築してきた。安心して高校生活を送れることが、中学校からの期待となっている。

- ・確かな中高連携により地域に根差した紀南高校となっている。令和12年からの1クラス減の折には、40人に選んでもらえる学校になっていることが大切。就職に特化したカリキュラム編成をし、目的を持った学校づくりで1校の中で住み分けしていきたい。

・系列名称がわかりにくいので、もっと子どもたちにわかりやすくしてほしい。

(2) 紀南高祭について

- ・コロナ前はやきそばを提供していた。例年同窓会と一緒にやっている。
- ・売上は生徒会に寄付する。PTA役員会にて具体案を決定する。

4 連絡事項

- (1) 紀南地域県立学校拡大人権教育推進協議会（「人権感覚あふれる学校づくり事業」授業公開）について、参加可能な場合は別紙にて申込。
- (2) 第4回学校運営協議会は、令和5年11月30日（木）、第5回は令和6年3月7日（木）に開催。
- (3) 配付資料（紀南の風48号・大学新聞・新聞記事）
- (4) 同窓会総会を10月28日（土）に開催。